

## 産業組織論

加納 和子 准教授

### 1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

企業行動や消費者購買行動について、産業組織論の手法を用いた実証分析を行っています。企業行動については価格の分析を中心としており、価格調整費用などの影響に着目した分析を行ってきました。消費者購買行動では購買の決定要因としての家庭内在庫について分析を行っています。

### 2. 指導方針

1年次では、産業組織論の実証分野における主要な先行研究論文を読み、実証産業組織論の手法を理解することに努めていただきます。産業組織論、計量経済学、ミクロ経済学、ゲーム理論についてある程度の知識と理解が必要となるため、習熟度に応じて自主的な並行学習が必要となります。経済学の論文を読むために必要な英語の読解力およびStataやMatlab等の統計ソフトについての習熟も必要とされます。また学位論文作成に向けて研究テーマおよび手法を決定し、実証研究の準備をします。2年次では学位論文作成の指導を行います。

### 3. 学生に対する要望・その他

産業組織論は、価格競争や合併等の企業行動分析、医療や製造業などの産業分析をはじめ、消費者のミクロ的な行動やマクロ経済学・国際経済といった分野にも含意を持つ分析がされる分野です。また、経済学では政策的な視点も重要です。習得したモデルや手法の現実問題への応用可能性についての探求心が強いこと、そして論文を完成させるための粘り強さが望まれます。